



JIS Z 7253 : 2012 に基づいた SDS (案)	JIS Z 7253 : 2019 に基づいた SDS (案)	必須又は任意の別 <sup>a)</sup>	備考																																				
<p>洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 汚染された衣類を再使用する場合：洗濯すること。</p> <p>[保管] 部外者が触れないような措置をし、硬化する前に使用すること。</p> <p>[廃棄] 国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。</p> <p>[その他] レディーミクストコンクリートの材料にフライアッシュが含まれる場合、フライアッシュ単味にばく露のおそれはないが、フライアッシュには、飲み込むと有害のおそれ、遺伝性疾患のおそれの疑い、発がんのおそれ、生殖能又は胎児への悪影響のおそれ、臓器（呼吸器系）障害、臓器（全身毒性、消化器）の障害のおそれ、呼吸器への刺激のおそれ、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれの危険有害性情報があるので注意すること。</p> <p>3. 組成及び成分情報 化学物質・混合物の区別： 混合物 化学名又は一般名： レディーミクストコンクリート 成分及び含有量：</p> <table border="1" data-bbox="210 1037 1190 1115"> <thead> <tr> <th>含有成分</th> <th>含有率 (wt%)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトランドセメント</td> <td>最大 40</td> <td>3CaO・SiO<sub>2</sub>, 2CaO・SiO<sub>2</sub>, 3CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 等</td> </tr> </tbody> </table> <p>CAS番号及び官報公示整理番号(化審法)：</p> <table border="1" data-bbox="210 1224 1163 1377"> <thead> <tr> <th>含有成分</th> <th>CAS番号</th> <th>官報公示整理番号(化審法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトランドセメント</td> <td>65997-15-1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高炉スラグ<sup>**</sup></td> <td>65996-69-2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フライアッシュ<sup>**</sup></td> <td>68131-74-8</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ※；高炉スラグは、高炉セメント又は混和材として使用した場合の含有成分。 ※※；フライアッシュは、フライアッシュセメント又は混和材とした場合の含有成分。 ・特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（化学物質排出把握管理促進法）の第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質に該当しない。</p> <p>4. 応急措置 吸入した場合： レディーミクストコンクリートを吸入することは考えられないが、体調が優れない場合は、新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>皮膚に付着した場合： 速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。</p> <p>眼に入った場合： 速やかに清浄な水で最低 15 分洗眼したのち、医療処置を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄したのち、医療処置を受ける。 被災者の意識が朦朧としている場合、意識がない場合は、無理に吐かせないで、速やかに医療処置を受ける。</p>	含有成分	含有率 (wt%)	備考	ポルトランドセメント	最大 40	3CaO・SiO <sub>2</sub> , 2CaO・SiO <sub>2</sub> , 3CaO・Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 等	含有成分	CAS番号	官報公示整理番号(化審法)	ポルトランドセメント	65997-15-1	—	高炉スラグ <sup>**</sup>	65996-69-2	—	フライアッシュ <sup>**</sup>	68131-74-8	—	<p>P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 P310 直ちに医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>[保管] 部外者が触れないような措置をし、硬化する前に使用すること。 [廃棄] 国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。 [その他] レディーミクストコンクリートの材料にフライアッシュが含まれる場合、フライアッシュ単味のばく露のおそれはないが、フライアッシュには、飲み込むと有害のおそれ、遺伝性疾患のおそれの疑い、発がんのおそれ、生殖能又は胎児への悪影響のおそれ、臓器の障害（呼吸器系）、臓器の障害のおそれ（全身毒性、消化器）、呼吸器への刺激のおそれ、長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害（呼吸器系、免疫系、腎臓）、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれの危険有害性情報があるので注意すること。</p> <p>3. 組成及び成分情報 化学物質・混合物の区別： 混合物 化学名又は一般名： レディーミクストコンクリート 成分及び含有率：</p> <table border="1" data-bbox="1267 1037 2246 1115"> <thead> <tr> <th>含有成分</th> <th>含有率 (wt%)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトランドセメント<sup>**</sup></td> <td>最大 50</td> <td>3CaO・SiO<sub>2</sub>, 2CaO・SiO<sub>2</sub>, 3CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 等</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ※；ポルトランドセメントに、酸化マンガ(CAS番号:1344-43-0)が1wt%未満含まれる。</p> <p>CAS番号及び官報公示整理番号(化審法)：</p> <table border="1" data-bbox="1267 1224 2220 1377"> <thead> <tr> <th>含有成分</th> <th>CAS番号</th> <th>官報公示整理番号(化審法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトランドセメント</td> <td>65997-15-1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高炉スラグ<sup>**</sup></td> <td>65996-69-2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フライアッシュ<sup>**</sup></td> <td>68131-74-8</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ※；高炉スラグは、高炉セメント又は混和材として使用した場合の含有成分。 ※※；フライアッシュは、フライアッシュセメント又は混和材とした場合の含有成分。 ・特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（化学物質排出把握管理促進法）の第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質に該当しない。</p> <p>4. 応急措置 吸入した場合： レディーミクストコンクリートを吸入することは考えられないが、体調が優れない場合は、新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>皮膚に付着した場合： 速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。</p> <p>眼に入った場合： 速やかに清浄な水で最低 15 分洗眼したのち、医療処置を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄したのち、医療処置を受ける。 被災者の意識が朦朧としている場合、意識がない場合は、無理に吐かせないで、速やかに医療処置を受ける。</p>	含有成分	含有率 (wt%)	備考	ポルトランドセメント <sup>**</sup>	最大 50	3CaO・SiO <sub>2</sub> , 2CaO・SiO <sub>2</sub> , 3CaO・Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 等	含有成分	CAS番号	官報公示整理番号(化審法)	ポルトランドセメント	65997-15-1	—	高炉スラグ <sup>**</sup>	65996-69-2	—	フライアッシュ <sup>**</sup>	68131-74-8	—	<p>必須 必須 任意 任意 必須 必須 必須 必須</p>	<p>・附属書 C の表現に修正した。 ・コード (P363 等) を追加した。</p> <p>・コード (P501 等) を追加した。 ・[その他]は、原材料にフライアッシュを使用している場合に記載する。</p> <p>・表に「含有率」と記載しているので整合させた。 ・1:1 モルタルを仮定した。 ・セメント SDS 改訂内容を反映し、追記した。</p> <p>・原材料にフライアッシュを使用している場合に記載する。</p> <p>・応急処置：附属書 A の表 A.21 及び表 A.22 のコードを参照し、表 C.3 の注意書きを参考に記載した。</p>
含有成分	含有率 (wt%)	備考																																					
ポルトランドセメント	最大 40	3CaO・SiO <sub>2</sub> , 2CaO・SiO <sub>2</sub> , 3CaO・Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 等																																					
含有成分	CAS番号	官報公示整理番号(化審法)																																					
ポルトランドセメント	65997-15-1	—																																					
高炉スラグ <sup>**</sup>	65996-69-2	—																																					
フライアッシュ <sup>**</sup>	68131-74-8	—																																					
含有成分	含有率 (wt%)	備考																																					
ポルトランドセメント <sup>**</sup>	最大 50	3CaO・SiO <sub>2</sub> , 2CaO・SiO <sub>2</sub> , 3CaO・Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 等																																					
含有成分	CAS番号	官報公示整理番号(化審法)																																					
ポルトランドセメント	65997-15-1	—																																					
高炉スラグ <sup>**</sup>	65996-69-2	—																																					
フライアッシュ <sup>**</sup>	68131-74-8	—																																					

JIS Z 7253 : 2012 に基づいた SDS (案)	JIS Z 7253 : 2019 に基づいた SDS (案)	必須又は任意の別 <sup>a)</sup>	備考
<p>5. 火災時の措置  消火剤： 不燃物質であるので必要としない。  使ってはならない消火剤： 情報なし</p> <p>6. 漏出時の措置  人体に対する注意事項、  保護具及び緊急時措置： 回収作業には、保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、マスク等の保護具を着用する。  環境に対する注意事項： 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。  封じ込め及び浄化の方法  及び機材： 漏出した場合には、スコップ等により回収し、廃棄するまで土のう袋等で保管する。やむを得ず床面等に残ったものは、固化する前に水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。  回収物や回収した洗浄水は、「1 3. 廃棄上の注意」に従い、廃棄又は排水する。</p> <p>7. 取扱い及び保管上の注意  取扱い  技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。  安全取扱注意事項： みだりに飛び散らないように、型枠の中で使用すること。    取扱い後はよく手を洗うこと。  この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。  接触回避： アルカリ性を示すため、酸性の製品との接触を避ける。    保管  安全な保管条件： 保管しない。  安全な容器包装材料： 保管しないため、安全な容器包装材料はない。</p> <p>8. ばく露防止及び保護措置  設備対策： 型枠の中で使用する。  管理濃度： 該当しない  許容濃度： 該当しない  保護具  呼吸用保護具： 必要に応じて保護マスクを着用する。  手の保護具： 手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。  眼の保護具： 眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。  皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて保護長靴、保護衣等を着用する。</p>	<p>5. 火災時の措置  適切な消火剤： 不燃物質であるので必要としない。  使ってはならない消火剤： 不燃物質であるので必要としない。</p> <p>6. 漏出時の措置  人体に対する注意事項、  保護具及び緊急時措置： 回収作業には、保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、マスク等の保護具を着用する。  環境に対する注意事項： 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。  封じ込め及び浄化の方法  及び機材： 漏出した場合には、スコップ等により回収し、廃棄するまで土のう袋等で保管する。やむを得ず床面等に残ったものは、固化する前に水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。  回収物や回収した洗浄水は、「1 3. 廃棄上の注意」に従い、廃棄又は排水する。</p> <p>7. 取扱い及び保管上の注意  取扱い  技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。  安全取扱注意事項： みだりに飛び散らないように、型枠の中で使用すること。  保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。  取扱い後はよく手を洗うこと。  この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。  アルカリ性を示すため、酸性の製品との接触を避ける。  アルミニウム、アンモニウム塩と反応するので接触を避ける。  凝結が遅延するので糖類との接触を避ける。    保管  安全な保管条件： 保管しない。  安全な容器包装材料： 保管しないため、安全な容器包装材料はない。</p> <p>8. ばく露防止及び保護措置  許容濃度等： 該当しない  設備対策： 型枠の中で使用する。  管理濃度： 該当しない  保護具  呼吸用保護具： 必要に応じて保護マスクを着用する。  手の保護具： 手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。  眼の保護具： 眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。  皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて保護長靴、保護衣等を着用する。</p>	<p>必須  必須※</p> <p>必須</p> <p>必須</p> <p>必須</p> <p>必須※</p> <p>必須※</p> <p>任意  任意</p> <p>必須</p>	<p>・適切な消化剤：附属書Dの表D.1の小項目名に整合させた。  ・使ってはならない消火剤：情報が  ない場合は、その旨を必ず記載する  必要があるので追記した。</p> <p>・「技術的対策」、「安全取扱注意事  項」、「接触回避」は、小項目名としない  と明記(附属書DのD.18)されたため、太字  を外した。  ・保護具の着用を追記した。</p> <p>・混合接触させてはならない化学物  質を追記した。</p> <p>・「安全な保管条件」、「安全な容器包  装材料」は、小項目名としないと明記  (附属書DのD.18)されたため、太字  を外した。</p> <p>・許容濃度等：附属書Dの表D.1の  小項目名の記載順に合わせた。  ・管理濃度：附属書Dの表D.1の小  項目名にないため削除した。</p> <p>・「呼吸用保護具」、「手の保護具」、  「眼の保護具」、「皮膚及び身体  の保護具」は、小項目名としないと明記  (附属書DのD.18)されたため、太字  を外した。</p>



JIS Z 7253 : 2012 に基づいた SDS (案)		JIS Z 7253 : 2019 に基づいた SDS (案)		必須又は任意の別 <sup>a)</sup>	備考
生殖毒性： 特定標的臓器毒性： (単回ばく露) 特定標的臓器毒性： (反復ばく露) 吸引力呼吸器有害性：	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。	生殖毒性： 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)： データ不足のため分類できない。  特定標的臓器毒性 (反復ばく露)： データ不足のため分類できない。  <del>吸引力呼吸器有害性： データ不足のため分類できない。</del> 誤えん有害性： データ不足のため分類できない。	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。  データ不足のため分類できない。  <del>データ不足のため分類できない。</del> データ不足のため分類できない。	必須※ 必須※  必須※  必須※	・削除(誤えん有害性に変更のため) ・追加
1 2. 環境影響情報 生態毒性： 残留性・分解性： 生体蓄積性： 土壌中の移動性： オゾン層への有害性：	環境生物に対し有害であるとの情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし	1 2. 環境影響情報 生態毒性： 残留性・分解性： 生体蓄積性： 土壌中の移動性： オゾン層への有害性：	環境生物に対し有害であるとの情報なし。 時間とともに安定固化する。 生体に蓄積しない。 時間とともに安定固化するため、土壌中に移動しない。 時間とともに安定固化するため、大気中に拡散しない。	必須※ 必須※ 必須※ 必須※ 必須※	・情報がない場合は、その旨を必ず記載する必要があるので追記した。
1 3. 廃棄上の注意  残余廃棄物：  汚染容器及び包装：	  固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。  洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。 汚染容器は、洗浄して洗い流す。洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。	1 3. 廃棄上の注意 化学品（残余廃棄物）、当該化学製品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 レディーミクスト コンクリート：  汚染容器及び包装：	固化前は、洗浄し骨材を分離して、回収骨材及びスラッジ水として、固化後は、破砕して、路盤材や再生骨材として利用することが望ましい。また、廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。 洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。 汚染容器は、洗浄して洗い流す。洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。	必須   必須	・小項目名の変更及び環境上望ましいリサイクルに関する情報を追加した。
1 4. 輸送上の注意 国際規制 国連番号： 品名（国連輸送名）： 国連分類： 容器等級： 海洋汚染物質：  国内規制 海上規制情報： 航空規制情報： 陸上規制情報： 特別安全対策：	— — — — 該当しない  船舶安全法に従う。 航空法に従う。 消防法、道交法に従う。 漏れ等の防止を確実に行う。周辺環境への流出に留意する。	1 4. 輸送上の注意 輸送に関する国際規制 国連番号： 品名（国連輸送名）： 国連分類： 容器等級： 海洋汚染物質： 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策： 国内規制がある場合の規制情報 海上規制情報： 航空規制情報： 陸上規制情報：	— — — — 該当しない 漏れ等の防止を確実に行う。周辺環境への流出に留意する。  船舶安全法に従う。 航空法に従う。 消防法、道交法に従う。	該当する場合 該当する場合 該当する場合 該当する場合 任意 任意  必須	・該当しない小項目であり、削除してもよい。      ・附属書 D の表 D.1 の小項目名に整合させた。また、小項目名の記載順に合わせた。

JIS Z 7253 : 2012 に基づいた SDS (案)	JIS Z 7253 : 2019 に基づいた SDS (案)	必須又は任意の別 <sup>a)</sup>	備 考
<p><b>15. 適用法令</b></p> <p>労働安全衛生法： 第57条 表示対象物；ポルトランドセメント 第57条の2 通知対象物；ポルトランドセメント</p> <p>化学物質排出把握管理促進法： 第一種、第二種指定化学物質に該当しない。 毒物及び劇物取締法： 該当しない 廃棄物の処理及び清掃に関する法律： 産業廃棄物規制</p> <p><b>16. その他情報</b></p> <p>本データシートは、日本工業規格 Z 7253 : 2012 「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」 に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。</p> <p>記載内容は、現時点で入手できた試料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。</p> <p>本データシートは、必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。</p> <p style="text-align: center;">お問い合わせ先 〇〇〇〇 株式会社 〇〇課 〇〇係 〇〇県〇〇市〇〇・・・ TEL . . . . . FAX . . . . .</p>	<p><b>15. 適用法令</b></p> <p>労働安全衛生法： 第57条 表示対象物；ポルトランドセメント 第57条の2 通知対象物；ポルトランドセメント</p> <p>化学物質排出把握管理促進法： 第一種、第二種指定化学物質に該当しない。 毒物及び劇物取締法： 該当しない 廃棄物の処理及び清掃に関する法律： 産業廃棄物規制</p> <p><b>16. その他の情報</b></p> <p>本データシートは、日本工業規格 Z 7253 : 2019 「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」 に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。</p> <p>記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。</p> <p>本データシートは、必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。</p>	<p>必須</p> <p>必須</p> <p>必須</p> <p>必須</p> <p>任意</p>	<p>・附属書 D に整合させた。</p> <p>・誤字を訂正した。</p> <p>・1 ページ目に記載があるため削除した。</p>

注<sup>a)</sup> 記載の説明

必須 : 記載必須。

必須※ : 情報がない場合、その旨を必ず記載する。

任意 : 記載は任意。・・・なお、上記 SDS (案) においても、JIS Z 7253 : 2019 附属書 D の表 D.1 に記載の任意に該当する 全ての小項目名から関係のありそうな小項目を抜粋して記載している。

該当する場合 : 小項目が前提とする事柄に該当する場合だけに記載する。